

先生のための教育事典 EDUPEDIA



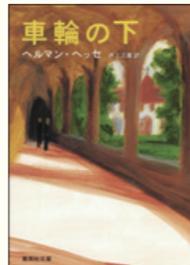
EDUPEDIA
—先生のための教育事典—
<https://edupedia.jp>
ウェブサイト

学習指導案や教材データなど教員のよりどころとなる情報が豊富にそろっている。ICT教育・防災教育など注目されている分野の教育情報もあり、教員志望学生にも参考になる記事が多い。



教採合格手帳
「月刊
教員養成セミナー」
編集部、
スクール
プランニングノート
制作委員会
学事出版

教員採用試験合格をめざす人向けの手帳。試験の基礎知識が身に付き、受験の前年度からのスケジュール管理ができる。計画的に目標を立てながら試験準備にとりくむのをサポートしてくれる。



車輪の下
ヘルマン・ヘッセ 著
高橋健二 訳
新潮文庫

たくさん勉強して、いい学校を出れば幸せになれる!? エリート校に合格し、周囲の期待を一身に背負い苦しむ主人公を通して、教育とは何か、学校とは何かを考えさせられるドイツ文学の金字塔。



なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか
山本崇雄 著
日経BP社

受動的ではなく能動的な学習者をどうしたら育てることができるのか。これからの時代に必要な教育の理念を、実践からわかりやすく説明している。教員の役割を考えさせられる一冊。



街場の教育論
内田樹 著
ミシマ社

学校、教員、親、仕事、宗教……これまでのあらゆる教育観が覆される。「学び」の本質を根底から見つけ直し、教育とはどのような営みかを考えさせられる一冊。教職志望学生にこそ勧めたい。

学生特派員が選ぶ 教職志望学生に勧めたい 教育コンテンツ12選



Web職員室
<http://edulabo.info/>
ウェブサイト

元教員の大導寺匠 @takumi_daidoji さんが校長を務めるWeb職員室。学校現場で起こる様々な悩みに対して教員に寄り添った温かい言葉が並んでいる。疲れた時、困った時に立ち寄りた。



AI vs. 教科書が読めない子どもたち
新井紀子 著
東洋経済新報社

日本の中高校生の多くは、中学校の教科書の文章を正確に理解できない——AI開発に携わった著者らの研究チームによる全国調査結果から読み解く学校教育激震の未来予想。



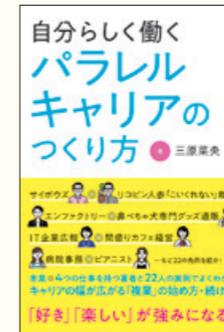
廃校先生
浜口倫太郎 著
講談社

廃校が決まった奈良県・十津川村の小学校で過ごす最後の一年を先生と子ども、それぞれの視点で描き出す、笑いあり、恋あり、涙ありの物語。読み終わったら、現地にも行ってみたいくなるかも。



みらいの教育
内田良・
菅野一徳 著
武久出版

教育社会学と教育哲学、異なる視点から現在の教育界の問題を語り合った本。それぞれの立場からの論文と「給特法」の解説も収録。問題提起のみならず、妥当な解に迫る一冊。



自分らしく働く
パラレル
キャリアの
作り方
三原菜央 著
秀和システム

会社に勤めながら別の仕事をしたり、NPOに参加したりするなど、選択肢を増やす生き方を知ることができる。インタビューも掲載されており、登場する22名の中に教員が含まれているのが特徴。

Pick Up Event

教職員、教育学者、学生
様々な立場から
これからの教育を考える

6月8日(土)、東京学芸大学でこれからの教育を考える学生主体のイベントが開かれます。主催の学生団体 Teacher Aideは、「教員一人ひとりの幸せ」をめざし、教員志望学生のネットワーク形成と意識改革にとりくんでいます。「ブラック」と言われる学校の労働環境に対して問題点の指摘にとどまらず、これからの教育のために一人ひとりができることは何か。「学校の働き方改革」の第一線で活動する教育社会学者の内田良さんと現役高校教員の斉藤ひでみさんらとともに考えてみてはいかがでしょうか。申し込み・問い合わせは左記二次元コードより。

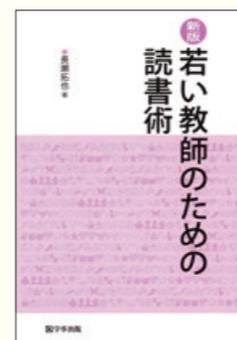


Let's Think～みんなで考えるカラフルな教育～

日時：2019年6月8日13時～16時30分
場所：東京学芸大学(予定)
登壇者：内田良(名古屋大学准教授)、
斉藤ひでみ(公立高校教員)、
工藤祥子(神奈川過労死等を考える家族の会 代表) 他
主催：Teacher Aide関東ブロック



様々な情報があふれる中で、教職をめざす上で触れておきたい情報を選び出すのは簡単ではありません。EDUPONT学生特派員が、これまで読んできた中で、これまで読んできた中で、教職志望学生に勧めたい教育コンテンツを選びました。



若い教師のための読書術
長瀬拓也 著
学事出版

「若い教師のための」とあるが、教職志望学生にもオススメ。多くの書籍も紹介されており、学生のうちから手にすれば、より「良い」教員になるための大きな足がかりになるだろう。



友だち幻想
一人と人との
つながりを考える—
菅野 仁 著
ちくまプリマー新書

「みんなで仲良く楽しいクラス」は本当に良いこと？ 学級目標の「当たり前」を問い直す。全国の1000人以上の教員が中高生に読んでほしいと選んだ「第5回君に贈る本大賞」で第1位獲得。